

せんぽと一期一会

せんぽと一期一会 第54号

発行日：2022年10月1日

発行：特別養護老人ホーム

せんぽ瓜破東



古き良き遊びが懐かしいです。あやとりが得意な方がいらっしや、毎日職員に色々な手さばきを見せて下さいます。お声をかけると、あっという間に橋や、塔を作られサッと一本の紐に戻されます。子供の頃はよく遊んでいました。入居者様のような素早い手さばきは、おろか、紐を操るのもダメダメでした。

1階フロア

表彰状の授与式で少し緊張した様子の入居者様。9月19日に行なわれた敬老会での一場面です。百歳になられた記念での授与で、少し照れながらも嬉しそうなお様子でした。他の祝い年の入居者様方も、表彰状を受け取られて顔から笑みがこぼれておられました。入居様の元気な笑顔が職員をやりがいになっております。



2階フロア



9月19日敬老の日。この日は、入居者様にとっては特別な日です。施設からはお祝いの品と、豪華なお料理でお祝いさせて頂きました。祝い年の方には、施設長から表彰状の授与があり、手渡された方は、「えらい年取ってしても嫌やわ」と言いながらも大変うれしそうにされていました。お元気で過ごして頂けるよう職員も願っています。

3階フロア

4階フロア

もうすぐ秋ですね！
「食欲の秋」だったり「読書の秋」だったり「スポーツの秋」だったり、過ごしやすくなつて食べ物もおいしい時期になります。写真は敬老会での90歳の方の賞状授与の場面です。身体で痛いところがありませんが毎日頑張っておられます。無理せず長生きできるようにお互い頑張りましょう！



職員紹介



佐藤 玲

せんぽ瓜破東に入職してからあっという間に9カ月が経ちました。慣れない環境で不安もありましたが、皆さんが温かく迎えて下さり嬉しかったです。入居者様が笑顔で元気に穏やかに過ごして頂けるように一緒に過ごす時間を大切に感謝の気持ちを持ちたいと思います。宜しくお願いします！

秋の栄養コラム

管理栄養士 中村友子

食欲の秋がやってきました。収穫の季節であり、1年の中で最も旬の食材が豊かな季節です。特に「秋は甘味の季節」といわれ、自然界の生き物は甘味の食材を食べるためにエネルギを蓄えます。私たち人間も気温の変化とともに味覚が冴え、食べ物を美味しく感じるようになります。そしてついつい食べ過ぎる・・・でも人間は冬眠しないので、食べた分は消費しないと栄養過多ですよ。当施設の入居者様にも「運動せなあかんやろ」と仰り、敷地内をお散歩したりフロアで一生懸命体操をしたり、ご自身なりの運動に取り組まれる方が。やはり長く生きておられる入居者様は本能的にご自身で体調管理をしております。

地域密着型特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム

せんぽ瓜破東

〒547-0022 大阪市平野区瓜破東8丁目8番6号

電話：06-6700-5000 FAX：06-6700-5100